

仕事と育児・介護との両立をまっとう ワークライフバランスの観点から

近年の核家族化の進行や女性の社会進出の増加等により、教職員のみなさまにとって仕事と生活の調和（ワークライフバランス）は重要な課題であります。このような状況の中で、働きやすい職場環境を整備していくことは、本学としても重要な課題となっています。

そこで、男女共同参画推進委員会では、教職員にとって働きやすい環境整備の取り組みの一環として、この度、育児および介護に焦点をあてた講演会を開催します。

講師の渥美由喜氏は育児休業取得経験があり、介護のご経験もある方です。
職場にてお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

記

- 1 実施日時 平成27年12月10日（木） 15:30~17:00
- 2 対象者 教育職員・事務職員
- 3 実施場所 千里山キャンパス 尚文館 マルチメディアAV大教室
※高槻キャンパス A棟 管理研究棟 第2会議室
※高槻ミューズキャンパス マルチミーティングルーム1
※堺キャンパス A棟 1階 会議室B
※北陽キャンパス 中学校 会議室 ※はTV会議システムを利用
- 4 講師 内閣府少子化社会対策大綱の具体化に向けた結婚・子育て支援の
重点的取組に関する検討会
座長代理（民間シンクタンク 研究部長） 渥美 由喜 氏
- 5 申し込み 人事課 福利厚生担当(fukuri@ml.kandai.jp)宛に
①職員番号②所属③資格④氏名の4項目を送信してください。
- 6 問合せ先 人事課 川端・増原（内線 2295・2296）

以上

講師紹介

内閣府少子化社会対策大綱の具体化に向けた結婚・子育て支援の重点的取組に関する検討会
座長代理（民間シンクタンク 研究部長）
渥美 由喜（あつみ なおき）氏

これまでに海外 10 数ヶ国を含む、国内のワークライフバランス・ダイバーシティ先進企業 700 社、海外 100 社を訪問ヒアリングし、3000 社の財務データを分析。

また、コンサルタント、アドバイザーとして、実際にワークライフバランスやダイバーシティに取り組む企業の取組推進をサポート。過去、内閣府『共同参画』に「地域戦略としてのダイバーシティ」を連載。

プライベートでは 2 児の父親であり、2 回の育児休業を取得。現在は父親の介護も実践中。座右の銘は、「市民の三面性＝家庭人、地域人、職業人」。

【専門領域】

- (1)労働雇用・企業経営(ワークライフバランス、ダイバーシティ、アウトソーシングなど)
- (2)日本及び欧米諸国の人口問題(少子化対策など)
- (3)日本及び欧米諸国の社会保障制度(年金、介護、医療など)
- (4)家計消費(シルバー消費市場など)

主催：関西大学男女共同参画推進委員会